

きらめけ日大東北



第49回日本大学東北高等学校吹奏楽部定期演奏会
(6月18日・須賀川市文化センター 大ホール)

制限の終了と新たな学校生活

新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが、5月8日に季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行されたこととともない、生徒への感染対策は、学校が一律に求めるのではなく、個人の判断に委ねられることになりました。3年以上にわたった新型コロナ対策は「有事」から「平時」の対応に変わることとなり、このことは学校生活の正常化に向けた大きな区切りとなりました。昇降口に設置していた赤外線サーモグラフィや、アカシヤ館食堂内のアクリル板も、同日をもって外すことといたしました。

顧みれば緊急事態宣言が発令された令和2年度には、4月18日から5月24日までの臨時休校、休校中のオンライン授業の実施、長期間に及ぶ時差登校と短縮授業、部活動の全面停止、座席を向い合わせにしたグループ学習の禁止、最大の学校行事である2年生修学旅行の中止決定等のことがあり、正常の学校生活が全く展開できない状況でした。本来学校は仲間と協調し、互いに成長していく場であるのに、マスクで表情を覆い、密を避けて距離を保つことを求められた長い時間は、学校生活のありようを大きく変えてしまいました。

令和5年度は、感染者数の減少や諸制限の終了等により、本来の学校生活に近い状態での行事を展開しております。保護者と新入生が

一堂に会しての入学式、1年生全員が集まるのSAKURAホールでの研修会、マスク着用を求めない形での校内体育大会、保護者をお迎えてのアカシヤ祭の開催などは、この3年間にはなかった新しい動きでありました。

部活動においても、声を出しての応援が認められるようになり、春季東北大会への出場を果たした野球部の試合(6月7日：花巻球場 対明桜高校戦、試合は5-8で惜敗)においても、スタンドから大きな応援の声が飛んでおりました。ようやく「学校らしさ」が戻ってきたという思いです。令和5年度はまさに、新たな学校生活に向けての歩みがはじまった年度となっております。

本誌120号は、「1.奉仕と思いやりの心を持つ 2.新校舎を大切に学ぼう 3.対策をして楽しもう」という、今年度の3つの努力目標のもとに展開された、1学期の学校生活や部活動の記録です。どうかこれをご高覧いただき、躍動する本校生徒の成長の姿を、今後とも応援していただければ幸いです。



学校長 佐々木 稔

青空だより

親子のコミュニケーションのかたち
相談室「青空」カウンセラー 伊藤 充



思春期はアイデンティティ形成期で情緒不安定になりやすくグラグラします。その親世代は中年期の課題、離婚再婚、仕事上のクライシス、子育ての終わり、上の世代の介護・喪失などこれまた人生における課題が重なる時期で不安定になる頃といえるでしょう。それぞれが孤独感、孤立感を抱え不安定になる時期と思ったほうがよさそうです。そうした思春期の親子のコミュニケーションのいくつかのタイプを上げてみます。
①絡まり合ってお互いに身動きが取れない。【例】親→子／「普通なら～するはずなのに」「(小遣いをやりつつ)自立しろ」「(子供の具合が悪くなるたび不安で)怒る」、子→親／「この学校に来たのは親が押し付けたから」「親が～してくれたら卒業する」「勉強しろとうるさいから勉強する気が失せた」②お互いに密着しすぎてとも揺れに耐えられず情緒的

関係を遮断【例】親→子／「思い通りにならないから学費は出さない」「もう大人なんだから勝手に過ごさない」、子→親／「親は私に関心がないに違いない」「相談しても無駄」「親には頼りたくない」③二者関係の緊張緩和のために第三者(多くは子ども)を巻き込む【例】親→子／「離婚しないで来たのはあなたのためだ」「お父さんみたいにならないで。」「お母さんに～と言っておけ」、子→親／「母の安定を保つためには私がんばらなくてはいけない。」(参照：北島歩美『アタッチメントの視点からみた思春期青年期の不適応とその理解』日本家族療法学会第37回大会ワークショップより)

どなたも何かしら心当たりのあるやりとりのパターンではないでしょうか?子どもたちが自立していくに際して、「安心安全の基地」として家族がうまく機能しているでしょうか。子どもの自立には、家族の働きかけが必要不可欠なのだと思います。何かご心配なことがありましたら、いつでもどうぞお気軽にご相談ください。お待ちしております。

- 生徒支援室 TEL.024-956-8852
- 分室「青空」(保健室内…カウンセラー常駐) TEL.024-956-8850

新任教職員紹介

今泉 恒久 [理科]
いまいずみ つねひさ
1年生と2年生の化学の授業を担当します。少し前から古文書解読に挑戦中です。答えがあるわけもなく中々大変ですが、少しずつでも読めるようになってくると嬉しいものです。

梅津 大揮 [地歴・公民科]
うめつ だいき
1年生の公共と3年生の現代社会を担当します。授業では、社会科を学ぶ楽しさを生徒に伝えていきたいです。毎日元気に頑張ります!どうぞよろしくお願いたします。

大河内 克浩 [数学科]
おおこうち かつひろ
1年生の数学を担当します。素晴らしい環境の中で、皆さんと一緒に勉強できることを楽しみにしています。皆さんに少しでも数学に興味を持ってもらうことを目標に、精一杯頑張ります。

草野 陸 [国語科]
くさの りく
はじめまして!この度母校に帰ってくることができて大変嬉しいです!自分自身も楽しみなが、みなさんの人生に良い影響を与えられるよう、頑張ります。今年一年の目標は、「誰よりも早く学校にくる」です。挑戦者お待ちしております!!

佐々木 英人 [国語科]
ささき ひでと
42年ぶりに母校に戻ってきました。このご縁に感謝するとともに、新校舎など学習環境の変化の大きさに、浦島太郎のような心境です。後輩である、生徒の皆さんと楽しく学校生活を送りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

澤田 知志 [数学科・情報科]
さわだ ともゆき
日大東北のOBとして、母校に戻り教員として働くことができることを、大変うれしく感謝しております。皆さんに数学・情報のことだけでなく、日々の学校生活を明るく楽しく過ごしていけるように精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。

芳賀 柁平 [理科]
はが しゅうへい
今年度から教員として、母校である東北高校に戻ることができたことを嬉しく思います。物理を面白いと思っていただけることを目指して頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

橋本 淳平 [英語科]
はしもと じゅんぺい
1学年の英語の授業を担当させていただきます。趣味は映画鑑賞とサウナに入ることです。英語を学習する楽しさを伝えられるように頑張りますのでどうぞよろしくお願いたします!

渡邊 玲奈 [理科]
わたなべ れいな
この学校に入学してよかった!と思えるような時間を過ごしてもらえよう!一生懸命頑張ります。見えてくる世界を広げ、物理の楽しさを共に感じましょう!

日本大学東北高等学校
Nihon University Tohoku High School
〒963-1165
福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地
TEL. 024-956-8840 FAX. 024-956-8873
https://www.tohoku.hs.nihon-u.ac.jp

編集
後記

本誌発行120号になりました。生徒の様々な面での活躍が素晴らしく、良い笑顔の写真を掲載できる幸せを感じています。今回も多くの方々のご協力をいただき発行することが出来ました。ありがとうございました。

イベントカレンダー
Event Calendar
2027

4月 April

6(木)	第73回入学式
7(金)	対面式・着任式・始業式
10(月)~12(水)	健康診断・身体測定・歯科検診
19(水)	基礎学力到達度テスト(1・2年)
20(木)	基礎学力到達度テスト(3年)
22(土)	学級懇談会

5月 May

2(火)	生徒総会
9(火)	校内体育大会
22(月)~25(木)	1学期中間試験
28(日)	英検
29(月)~6/17(土)	教育実習

6月 June

1(木)	衣替え
15(木)	第1回献血
18(日)	第49回吹奏楽部定期演奏会
	漢字検定
24(土)	数学検定
27(火)~30(金)	1学期期末試験

7月 July

8(土)	アカシヤ祭一般公開
20(木)	終業式

日本大学附属高等学校特待生・日本大学東北高等学校奨学生
日本大学東北高等学校桜薔会奨学生

日本大学附属高等学校特待生

2学年	長沼 優翔(12組)	石川 結心(14組)
3学年	塩澤 悠翔(4組)	沼田 星那(14組)

日本大学東北高等学校奨学生

第1種	1学年	丹治 綺咲(2組) 半澤 怜旺(9組) 古内 奏南(4組) 緑川 智子(9組) 伊藤 拓海(5組) 井上 幸正(10組) 紋谷 佳吾(5組) 江連 心美(11組) 遠藤 結(6組) 星 楓斗(12組)
	2学年	下村 瑛太(3組) 熊田美衣那(13組) 坪井 敬臣(7組) 星 真澄(14組) 安齋 智稀(9組) 渡邊 陽菜(9組) 薄井 香花(13組)
	3学年	古川 裕菜(3組) 佐藤 美暖(12組) 渡辺愛友里(5組) 磯海 瑛斗(13組) 清野 天治(6組) 橋本 歩実(10組) 大武 瑠那(11組)
第3種	3学年	須藤 巧(9組)

日本大学東北高等学校桜薔会奨学生(体育)

野球部	8名	1学年	一ノ瀬慎平(1組)
	2学年	天羽 俊介(1組) 飯野 幹太(1組)	鈴木良意斗(1組) 山田鼓太郎(1組)
		3学年	浅倉 七星(1組) 馬場 真大(1組)
陸上競技部	8名	1学年	石川 暖菜(1組) 酒井 佑真(1組)
	2学年	近藤 美憂(1組) 陣野 莉心(1組)	滝深 心咲(1組)
		3学年	曲山 純平(1組) 三宅 花音(1組)
水泳部	4名	1学年	竹田 孝河(1組) 武田 璃子(1組)
	2学年	渡部 竣也(1組)	菅野 楓(1組)
バスケットボール部	3名	1学年	安島 通孝(1組)
	3学年	鈴木 拓磨(1組) 棚木 成伊(1組)	
相撲部	2名	3学年	佐藤 悠佑(1組) 工藤 礼暖(6組)

令和5年度 後援会・桜薔会役員(敬称略)

令和5年度 後援会役員名

名誉会長	佐々木 稔(校長)
会長	菊地 大介(3年 7組)
副会長	矢吹 忍(3年 5組)
会計	安齋 淳(2年 1組)
	伊野 竜司(1年12組)
	花里 昌昭(教頭)
	鈴木 秀典(3年 6組)
監事	秦 雅(職員)
	小野寺和教(2年 7組)
	米倉 攻(1年12組)
庶務	佐藤 睦浩(教諭)
	村上進之介(職員)
桜薔会幹事長	早田 宗弘(教諭)

1学年委員

竹田 佑樹(1組)	小平 明子(6組)	武田 信子(9組)
白岩 美香(2組)	円谷 志保(6組)	上田理恵子(10組)
澤井 穰次(3組)	石井 めぐみ(7組)	遠藤佳誉子(11組)
鈴木 高介(4組)	本田 友康(8組)	伊野 竜司(12組)
小林 直樹(5組)	菅野 泰助(9組)	米倉 攻(12組)
紋谷 ゆかさ(5組)	椎根 聡人(9組)	古川満理子(12組)

2学年委員

安齋 淳(1組)	赤井田仁子(6組)	佐藤久美子(10組)
橋本 昌子(2組)	與那嶺玲子(6組)	持地 理恵(10組)
星 美穂(3組)	大田 綾子(7組)	渡邊 厚(11組)
吉田 真子(3組)	小野寺和教(7組)	山河明日香(12組)
江連美紀子(4組)	桑島真以子(8組)	菅澤 千加(13組)
佐藤真由美(4組)	藤田 幸子(8組)	武藤 まり子(14組)
添田 春恵(5組)	石黒 広美(9組)	村上 和広(14組)
圓谷 沙織(5組)	宗形 香里(9組)	

3学年委員

佐藤 夕紀(1組)	鈴木 秀典(6組)	深谷 直子(10組)
桐生奈津子(2組)	本田 千枝(6組)	福地 望(10組)
佐藤絵美子(2組)	猪狩久美子(7組)	石井 隆士(11組)
森合 優子(3組)	菊地 大介(7組)	芳賀 美樹(11組)
山口久美恵(3組)	村上 恵美(7組)	上田 直美(12組)
熊田 裕子(4組)	菊地 あさみ(8組)	島木 充代(12組)
塩澤 恵美(4組)	佐藤 のぞみ(8組)	大竹智亜理(13組)
齋藤 麻弥(5組)	日野 みわ子(8組)	寺島 美里(13組)
福田 悦子(5組)	佐藤 涼子(9組)	西村 修一(14組)
矢吹 忍(5組)	圓谷栄美子(9組)	山田 満憲(14組)
工藤 みどり(6組)	小檜山佳代(10組)	

	委員長	副委員長
1学年	椎根 聡人	菅野 泰助 小林 直樹 澤井 穰次
2学年	赤井田仁子	佐藤真由美 大田 綾子 宗形 香里
3学年	石井 隆士	深谷 直子 島木 充代 大竹智亜理

令和5年度 後援会・桜薔会学校側(教職員)役員・桜薔会幹事

後援会・桜薔会役員

名誉会長	佐々木 稔(校長)
副会長	花里 昌昭(教頭)
委員	猪山 勝弘(事務課長)
委員	秋山 浩樹(教務部主任)
委員	石川 高遠(生活指導部主任)
委員	鈴木 典行(生徒会指導部主任)
委員	芥川 敦(進路指導部主任)
委員	小池 純一(広報部主任)
委員	松崎 一寿(3学年主任)
委員	川野 貴光(2学年主任)
委員	和泉 賢一(1学年主任)
委員	田澤 茜(保健体育科主任)
庶務	村上進之介(職員)
会計	秦 雅(職員)

桜薔会幹事

幹事長	早田 宗弘(教諭)
幹事	猪山 勝弘(事務課長)
幹事	村上進之介(事務課庶務)
幹事	秦 雅(事務課会計)
幹事	秋山 浩樹(教務部主任)
幹事	鈴木 典行(生徒会指導部主任)
幹事	石川 高遠(生活指導部主任)
幹事	小池 純一(広報部主任)
幹事	松崎 一寿(3学年主任)
幹事	川野 貴光(2学年主任)
幹事	和泉 賢一(1学年主任)
幹事	田澤 茜(保健体育科主任)

4.6Thu 入学式

第73回入学式が挙行され、今年は4年ぶりに保護者が参列して日本大学工学部大講堂で行うことができた。

佐々木稔校長より入学が許可された437名(入学許可代表:伊藤拓海さん・西袋中出身)が本校での高校生活をスタートさせた。校長式辞に続き根本修克工学部長が日本大学学長祝辞を述べ、村山廣嗣同窓会会長、宗像俊樹後援会会長より祝辞を賜った。そして、新入生を代表して折笠颯さん(守山中出身)が宣誓を行い、在校生を代表して生徒会長の大竹宏武さん(郡山七中出身)が歓迎の言葉を述べた。入学式のあとは各教室でHRを行った。それぞれ12クラスのHRも保護者の教室にLIVE配信した。



4.6Thu 第73回入学式新入生代表宣誓

暖かな春の訪れとともに、私たち437名は、伝統ある日本大学東北高等学校の一年生として、入学式を迎えることができました。これから始まる新しい高校生活への期待や希望に胸を膨らませ、門をくぐりました。本日は、私たち新入生の為に、このような盛大な入学式を開いて頂き、ありがとうございます。



私たちは義務教育を終え、これからの高校生活を「自主創造」の精神で、今どのような状況なのかを正確に把握し、どんな環境においても最適解を模索しようとする向上心こそが、重要だと考えております。時に、決して一人では乗り越えられない壁にぶつかるともありません。だからこそ、「忠恕の心」で相手と接し、多様性を重んじ、互いを尊重し合い、真の友情を築き上げることも肝要なのだと思います。「光陰矢の如し」時間はあっという間に過ぎていきます。だからこそ、将来を見据えた高校生活を送ることがとても大切だと思います。校訓を胸に刻み、よりよい自分に成長していけるよう、勉学はもちろん諸活動にも全身全霊で取り組み、学校生活を充実させていきたいと思っております。

結びに、本日入学式を挙げて頂いたことに深く感謝するとともに、家族や先生方、これまでお世話になった方々からの期待に添えるよう高校生活を送ることをお約束し、新入生誓いの言葉と致します。

令和5年4月6日
令和5年度新入生代表 折笠 颯(守山中出身)



4.7Fri 対面式・着任式・始業式

本校記念体育館にて令和5年度対面式・着任式・始業式が行われた。4年ぶりに1年生は全員体育館にて、2・3年生は各クラス代表4名のみが体育館にて、他の生徒は各教室にてLive配信により参加した。対面式では新入生代表 経塚美月さん(郡山一中出身)が高校生活の抱負を述べ、生徒会長 大竹宏武さん(郡山七中出身)と挨拶を交わした。着任式では今年度から着任される先生方より挨拶をいただいた。最後に始業式が行われ、校長先生、教務部主任、生活指導部主任の講話があった。



4.10Mon-13Thu 新入生オリエンテーション

本校SAKURAホールにて令和5年度新入生オリエンテーションを行った。過去3年間は新型コロナウイルス感染症感染防止のためLive配信で行われたが、今年は4年ぶりに一堂に会しての実施となった。新入生は、校長先生の講話を聴き、教務部主任や生活指導部主任の先生方から『日大東北生の心がまえ』を教わり、進路指導部主任の先生の講座で『働く意味』について学んだ。また音楽の先生から指導を受け、本校の校歌でもある『日本大学校歌』の歌唱練習もした。新入生たちはより一層高校に対する期待感が膨らんだようだった。



5.8Mon 自転車安全教室

郡山警察署交通一課の小倉公康氏を講師にお招きし全校生徒を対象に「自転車安全教室」が実施された。この講演は1年生はSAKURAホールで聴講、2・3年生は各教室にてLive配信を視聴するという方法で行った。小倉先生の講演「演題:自転車の安全走行について」では自転車の事故は安全に対する認識不足によって多く引き起こされる、という内容で生徒達への注意喚起を促すものだった。流された動画では自転車事故の例が紹介され、事故を起こした後の刑事責任・民事責任が具体的に示され生徒達は真剣に動画に見入っていた。



5.11Thu-12Fri 授業参観

両日とも2・3校時に保護者の皆様にお子様の学校での様子や授業を見ていただくことを目的として、授業参観を行った。11日は148名、12日は153名の保護者の皆様が来校され、お子様の授業の様子をご覧いただいた。



5.25Thu スマホ安全教室

スマホ安全教室をZoom配信(双方向型講演)にて実施した。この講演は、スマートフォン等の普及により、犯罪やトラブルに巻き込まれる事件が増加しているため、スマホの正しい利用方法や危険性を理解するとともに、トラブルへの適切な対処方法を周知し、生徒の情報モラルを育成することを目的とし実施した。Zoomを利用した双方向型の講演で、グループワークなどもあり生徒たちは楽しみながら情報モラルを学んだ。



5.9Tue 校内体育大会

校内体育大会が行われ、男子は3年がソフトボール、2年がサッカー、1年がドッジボール、女子は3年バレーボール、2年がバスケットボール、1年がバレーボール、また全クラス対抗の長縄跳びで競い合った。



1学年	2学年	3学年	3学年共通長縄
●男子ドッジボール	●男子サッカー	●男子ソフトボール	1学年
1位 1組	1位 1組	1位 6組	1位 5組(178回)
2位 7組	2位 3組	2位 1組	2位 11組(175回)
3位 2組	3位 8・11組	3位 8・11組	3位 4組(172回)
●女子バレーボール	●女子バスケットボール	●女子バレーボール	2学年
1位	1位	1位 5組	1位 13組(190回)
Aリーグ 5組	Aリーグ 11組	2位 11組	2位 5組(187回)
Bリーグ 12組	Bリーグ 1組	3位 6・10組	3位 14組(183回)
Cリーグ 4組	Cリーグ 14組		3学年
Dリーグ 8組	Dリーグ 10組		1位 14組(207回)
			2位 10組(162回)
			3位 11組(159回)

5.24Wed バスケットボール寄贈

バスケットボール男子Bリーグの福島ファイヤーボンズ様と株式会社ステイト様よりバスケットボール15個の寄贈があった。ファイヤーボンズ所属アシスタントコーチ 栗原貴宏(本校OB)様、同選手山内翼(本校OB)様、そしてステイト社長古川豊(本校OB)様より男子バスケットボール部にボールが手渡された。



6.15Thu 献血への貢献

令和5年6月15日(木)第一回の校内献血が実施された。2・3年生のみを対象に協力者を募集したところ、ボランティア委員会による昼休みの啓蒙活動等もあり、目標の150名を大幅に上回る163名の申込があった。協力した生徒・教職員に心より感謝の意を表す。なお、10月に行われる第2回の献血は1年生も対象に含め、目標は200名である。



5月 一学期中間試験を経験して

1年10組32番 平塚 優希(郡山第一中出身)

高校に入学して初めての定期テスト。初めは科目の多さから、テスト勉強の仕方に困惑した。中学校では5教科だったものが、高校では5教科11科目にまで分かれ、何から手をつければ良いのか分からなかった。しかし、とにかく時間のある限り、がむしゃらに勉強してみた。テストの難易度がわからないので、全教科80点以上を目標とし、4日間のテストに挑んだ。

今回のテストは、目標を全て超えることができた。ただ、勉強不足な点やケアレスミスが複数あったのが心残りだ。今回の結果をもとに、期末テストに向けて、自分を奮い立たせて勉強に励む人がいるだろう。私も自分の「負けず嫌い」のもと、次の目標に向けて精進していこうと決意した。



5.29Mon-6.17Sat 教育実習

5月29日(月)から6月17日(土)の3週間にわたり、15名の教育実習が行われた。教材研究に何時間も費やし、実際に教壇に立ち、生徒と向き合いながら、現場でしか得られない多くのことを学んでいた。15名の皆さんの今後の活躍を期待している。



教育実習を終えて

古川 真菜

日本大学工学部情報工学科
(田村市立大越中出身)

教育実習の3週間はとても貴重な時間でした。実習が始まるまでは、不安と緊張で実習を終えることができるのか大変心配でしたが、先生方の手厚いご指導のおかげで充実した実習を行うことができました。教材研究や授業準備をする中で、私は教師に向いているのだろうかかと悩むことが多くありました。しかし、実際に教壇に立つことで、生徒と向き合いながら授業をすることへの楽しさ、やりがいを感じ、教師への憧れがさらに強くなりました。

授業参観では、担当教科である数学の先生方の授業だけでなく他教科の先生方の授業も参観しました。この授業参観を通して、教え方のポイント、授業の進め方、生徒との関わり方、授業で用いる教材作成の仕方などを学びました。

実際に授業を行う中で、授業参観をするだけではわからなかった教えることの大変さや難しさを実感しました。私たちの高校時代は、

主に黒板やノートを用いて授業を受けていました。しかし、現在ではICT機器の導入が進み、プロジェクターやタブレット端末と黒板を併用しながら授業をしているため、短い時間の中でより効果の得られる方法を見出すことに苦慮しました。限られた時間の中で、生徒が楽しくよりわかりやすい授業をすること目標に、周囲の協力を得ながら繰り返しシミュレーションを行いました。

教育実習集大成でもある研究授業では、教材研究や授業準備はしていたものの、緊張で自分の思い描いた授業をすることができないかもしれないと不安になりました。しかし、実習生の仲間や指導をしていただいた先生方のあたたかい言葉に勇気づけられました。反省点はありましたが、これまでの課題を改善しながら思い描いていた授業に近づけることができました。

3週間を通して、教師としての責任の重さを実感しました。また、沢山の出会いや学びがあり、大きく成長することができました。お忙しい中私をご指導してくださった先生方、クラスの生徒への感謝の気持ちを忘れず、これからの目標に向かって頑張っていきたいです。

在籍学部の紹介と在校生への言葉

澤井 さくら

日本大学文理学部教育学科
(郡山市立行健中出身)

日本大学文理学部は、人文系・社会系・理学系の計18学科が揃う、日本大学の中でも規模の大きな学部です。それぞれの、専攻に沿った専門科目はもちろんのこと、文理学部の特色である文理融合の科目を受講でき、多くの先生方や友達に刺激を受けながら、自分の興味・関心に合った研究に取り組むことができます。また、各種資格取得へのサポートが手厚いことも魅力です。

中でも私は、教員を目指す人々へのサポートを行う教職センターにお世話になっています。教職センターでは、実際に校長先生

生をされていた方々に、教員採用試験の対策をしていただくことができます。長年の経験を踏まえ、たくさんのご指導をしていただくため、将来学校現場での活躍を夢見る人にとって大変素晴らしい環境であると感じています。

在校生のみならず、高校生の間にはできないことはたくさんあります。勉強も、学校行事も、友達との日々の生活も、頑張った思い出や楽しかった思い出は、時間がたっても自分の糧になります。人生の中で、あの時こうしておけばよかったという後悔は付き物かもしれませんが、そのような後悔をしないように、目の前の高校生活を全力で楽しんでください。

3週間という短い間でしたが、皆さんの貴重な高校生活を教育実習生として共に過ごすことができて大変嬉しく思います。ありがとうございました。

学年だより

1 学年

1学年主任 和泉 賢一



高校生活がスタート

入学式から3ヶ月が経ちました。1年生にとってこの1学期は、高校生活を知り、生活の土台をつくる期間となりました。4月の新入生オリエンテーションでは、学習の方法や生活のルールを学び、「動く」ことについて考えました。そしてなにより、ホームルームでの活動を通して、新しい仲間と出会い、新しい人間関係を構築しました。校内体育大会、アカンヤ祭では、仲間と協力し、一致団結して取り組みました。試合後の笑顔がとて印象に残っています。中間試験、期末試験では、科目数の多さ、期間の長さ戸惑いながらも、自学室で一生懸命学習に励みました。部活動では、練習・大会参加が本格化し、学習との両立に悩みながらも工夫を重ねました。学校生活のいたるところで、成長する生徒の姿がありました。

2学期には「来年度の文理選択及び科目選択」が待ち受けています。生徒達にとって、人生の大きな選択です。学校生活においても、「進路ガイダンス」や「総合的な探究の時間」、夏休みを実施する「工学部キャリアインタビュー」などを通して、生徒自身が将来について考え、人生観や職業観を育む予定です。特に夏休みを利用して実施する「キャリア自由研究」は、身近な大人へのインタビューを通して、仕事の内容や魅力を知る絶好の機会となります。ご協力をお願いいたします。

高校3年間は、社会に出る準備をする期間であると同時に、生徒達が大きく成長する期間でもあります。学年目標の「主体的に学ぶ力と社会性の育成」のもと、生徒達の「主体性」と「社会性」を育むため、学校生活のさまざまな場面でサポートしていきます。学校生活を通じて生徒達が、主体的に将来を創り、選択し、他者との協働を通して、社会の中で活躍する力を育むことを期待します。



2 学年

2学年主任 川野 貴光



生徒の活躍

2年14組の峯嶋美羽(滝根中出身)さんは、現在福島県的女子野球チーム「福島レッドホープスレディース」で活動を続けています。IIコースに在籍しながら練習に参加し、腕を磨いています。峯嶋さんから、このチームに参加しての感想をいただきましたので紹介します。

ずっと野球が大好きで、高校に進学してソフトボール部に入るのが夢でしたが、本校にはありませんでした。IIコースに在籍し、部活との両立が難しいということもわかりましたが、諦めきれずにいた時に見つけたのが「レッドホープスレディース」でした。実は、中学ではソフトテニス部だったので、全くの初心者でした。不安もあったけど、監督やチームメイトに、時に優しく、時に厳しく指導をしてもらい、今はとても楽しくて仕方ないです。きつい練習も楽しくて、さらに上手になりたいと思って活動しています。



レッドホープスレディースは、中学生から社会人までの人たちが構成されています。活動は週末だけですが、西武ライオンズレディースや元プロの選手の方からご指導いただく機会もあります。また、5月には、第1回女子野球GIANT杯にニカラグアの選手と合同チームで出場するなど、貴重な経験ができました。

今年は、高校や大学的女子硬式野球部の強豪との試合が多くあります。野球を始めて約1年。守備・打撃などまだ未熟な部分ばかりですが、試合で活躍し、勝利に貢献できるようにすることが目標です。

「レッドホープスレディース」そして「女子野球」をもっと知ってみたいです。今しかできない経験を一緒にしませんか?「本気で女子野球がしたい!」という人も、「ちょっとだけ興味がある」人も是非声をかけて下さい。一緒に野球をしましょう!女子野球を盛り上げよう!

3 学年

3学年主任 松崎 一寿



高校最後の夏休み

早いもので、高校3年生に進級して3カ月が過ぎ、「高校最後の・・・」と付く行事等が増えてまいりました。これから迎える夏休みも、「高校最後の夏休み」となります。お子さまにとっても大切な夏休みになります。やりたいこともたくさんあるかと思いますが、今は、自分の進路に向けた取り組み(受験勉強や進学先の調査、就職活動や企業訪問など)を優先していただき、合間や息抜きに少し自分の時間を作っていただければと思っています。

受験勉強に関して申しますと、少し前までは「受験の勝負は夏から」としておりましたが、受験方式も多様化し、受験準備の前倒しが進んでおり、夏よりも前にスタートしていると言っても過言ではないかもしれません。また、5教科の勉強だけが受験勉強ではなく、総合型選抜で受験される場合は、自己PR文の作成や小論文、プレゼンテーションの資料作りも受験勉強と言えます。学校推薦型選抜で受験される場合は、志望理由書や小論文の書き方、面接の回答内容について考えておくことも受験勉強と言えます。就職を希望されている場合も、企業訪問に始まり、採用試験の準備や対策を行うことも受験勉強です。どのような形であれ、早い人はもうすでに動き始めています。希望する各学校や企業では、募集要項が出ておりますので、よく確認したうえで、準備を進めていただければと思います。

コロナ禍も世の中の的には落ち着き、今まで見送られてきたことも元に戻りつつあります。それは受験についても言えることで、オープンキャンパスも対面の形で行うようになりました。次に考えられるのは推薦入試における面接です。今まではオンラインでの面接が行われておりましたが、大学生の就職活動の動向を見ますと、対面での企業訪問や説明会も戻り、面接も実施されているようです。その状況を考えますと、大学受験における面接も対面式に戻ると推測できます。日頃から本校でも、身だしなみの指導をさせていただいておりますが、正直、不安なところが多いのが現状です。男子生徒の髪型、髪の色、女子生徒の髪の色やスカートなど、挙げればきりがありませんが、面接を行う時期は冬服の時期が多いと思いますので、そういった身だしなみの部分で、ご家庭でも協力いただきながら、夏休み中に髪の毛をいじったり、ピアスを開けたり、乱れることの無いよう注視していきたいと思っています。

教務部だより

生徒が自ら学ぶ学校を目指して～「自学・自走」をキーワードに～

近年、本校では生徒たちが現代社会に適応し自ら未来を拓く力を身につけることができるよう「タブレット端末 (iPad) を活用した双方向型の授業」「英語コミュニケーション力の習得に繋がる放課後英会話講座 (希望制、無料)」「日本大学のスケールメリットを活かした探究活動」など、さまざまな形の「アクティブラーニング」を充実させてきました。現在は、自らの意志で学びに取り組むことができるよう、生徒の「自学」の意識が高まる環境作りに特に力を入れています。



教務部
秋山 浩樹

令和4年度Ⅱコース1学年の「自走」と「学習成績の飛躍的向上」

「自学」が成績向上に繋がる大切な要素であることは、令和4年度Ⅱコース1学年の実績が証明しています。令和4年度Ⅱコース1学年は「自走」をキーワードに、様々な取り組みを実施しました。

自走とは・・・「適切な働きかけやきっかけを与えれば、生徒は興味を持って自発的にドンドン先に行く」こと。

取り組み事例①

学外活動への参加を促したことにより、意欲的に学校で学んだ知識を学校外で活用する生徒が多くなりました。

⇒キャリア甲子園、SDGs169targetsアイコン日本語版作成プロジェクト (朝日新聞主催) に参加

取り組み事例②

学校の学び (演習) の後も学びたい意欲をそのまま自宅に持ち帰ってもらいたいと思い、大学入試の過去問を類題として提示し「授業→小テスト→定期テスト→模試→大学入試」のサイクルを意識できる環境を整えました。

⇒「家庭学習を充実させる手立てや工夫」により「ひとりで学習できる生徒」が増えました。

上記の取り組みが学業面でも効果を生み、毎年3月に受験する「スタディーサポート (Benesse)」の成績結果において、国公立大学合格レベル (S1～A3) の評価を得た生徒の数が「入学時: 37名」から「2年進級時: 61名」に大幅増加しました。

「自学」習慣の定着のために

自学はとてもやりがいがある学習方法であり、条件を整えればとても楽しく継続できるものです。多くの生徒に自学を「味わう」ことができる条件を手に入れてほしいです。一般に、自学を習慣化するために必要な条件は次の通りと言われます。

やる気 進路目標達成に必要な学力の理解	学習環境 学校の各施設の上手な利用 集中力を維持できる家庭内の学習場所
良い教材 進路目標達成までに至る「各科目別のルート」 ※受験までの使用教材の計画	仲間 志を等しく一緒に学ぶ 友達・ライバル

学校全体の「自学」「自走」に向けた取り組み

①「自学」のための環境の整備

本校では、生徒達に「自学」スペースとして「自学室 (集中して自学に取り組むスペース)」及び「アクティブラーニングスタジオ (協働学習・教員に質問できるスペース)」を開放しています。令和5年度が始まるとともに生徒の「自学」に対する意識が著しく高まり、それぞれの施設の利用生徒数が増え続け、収容人数を上回ることも多くなりました。生徒達から「学びの環境の更なる充実を求める声」が湧き上がったため、会議室を「第2自学室」として開放し、職員室前の廊下に「質問スペース」を設置するなど、生徒の自学の意識を後押ししています。この「自学の循環」が継続することを期待しています。



会議室の開放



職員室前廊下の質問スペース

②Ⅱコース放課後補習の見直し

これまで「講義型」で実施していた1年生、2年生Ⅱコース放課後補習を、「自学」型の学習へと変更しました。変更の目的は、生徒の学習に対する意識を「教えてもらうスタイル」から「自分で切り拓くスタイル」に変えてもらうことです。完全希望制で実施しておりますが、1年生は166人が、2年生は47人が参加しています。1学期中は申込み者のほとんどが欠席すること無く熱心に学習に取り組みました。2学期以降も引き続き頑張ってくれることを期待します。



自学補習の様子

「自学」型Ⅱコース放課後補習

1. 希望者が指定問題集を購入し、各自・各グループで演習を進めるスタイル。
2. 科目ごと指定された曜日の放課後1時間、指定教室で自学に取り組む。
3. 自分のペースで学習を進め、質問等がある場合は担当の先生が対応してくれる。

教務部だより Ⅱコース

2023年度大学入試結果

国公立大合格45名 東北大学・横浜国立大学に 現役合格



特別進学コース (Ⅱコース)
土屋 秀夫

2023年度入試のⅡコースの大学合格状況をお知らせ致します。国公立大学には現役生44名と既卒生1名の計45名が合格しました。また私立大学では、明治大学 (1名)、立教大学 (1名)、青山学院大学 (1名)、中央大学 (2名)、法政大学 (2名) などへの合格が報告されています。

やや落ち着いたとはいえ、昨年・一昨年と同様に新型コロナウイルス感染症の流行が続くなか実施された70期生の大学受験ですが、3年連続で40名を超える生徒が国公立大学に合格。現役合格率は50% (4年制47.7%) と過去5年間で最も高い合格率となりました。

3年目を迎えた大学入学共通テストは、センター試験と比較すると、

情報量・文字量ともに大幅に増え、資料等を含む複雑な構成で、読み解くのに手間のかかる問題が多くなっています。そして、その傾向は2024年度入試においても続くと思われます。Ⅱコースには、授業を中心に学校生活のなかで互いに切磋琢磨して高い目標を目指す環境があります。2024年度入試においても71期生 (現3年生) のみなさんが合格という二文字で大学受験を締め括れるよう、学習面・精神面の両面において全力でサポートしていきます。

国公立大学合格者数 ※短期大学含む

●弘前大 1	●東京学芸大 2	●会津大 (1)
●東北大 1	●横浜国立大 1	●東京都立大 1
●宮城教育大 1	●新潟大 5	●新潟県立大 1
●秋田大 1	●岩手県立大 1	●会津短期大 1
●山形大 7	●宮城大 1	●山形県立米沢短大 1
●福島大 15	●福島県立医科大 4	() 内、既卒生

生活指導部だより

今年度の指導目標

今年度の生活指導部は、以下の項目を指導目標としています。

1. 自立心・自立意識の育成
2. 安全教育の徹底
3. 人権の尊重



生活指導部主任
石川 高遠

『1. 自立心・自立意識の育成』については、生徒自身が自ら考え、責任ある行動を起こすことを目的としています。毎月「身だしなみ向上週間」を設定し、生徒会役員と風紀委員が中心となり、制服の着こなしや身だしなみについて考える機会を設けています。また、春と秋の交通安全週間には、登校時に交通安全委員があいさつ運動と交通マナーに関する呼びかけを行っています。こうした活動を通して、生徒が自立的に行動し、基本的な生活習慣の定着と規範や校則を遵守する意識を育成していきたいと考えています。

『2. 安全教育の徹底』については、交通法規や交通マナーの遵守、緊急時の対応に重点を置いています。5月8日に郡山警察署交通一課職員による「自転車安全教室」を実施し、自転車事故の実例などを踏まえて運転時に注意しなければならないことや、事故を起こしてしまった際の対応と責任について、具体的で分かりやすいお話をいただきました。また、全生徒に「緊急時対応マニュアル」を配布し、通学中の交通事故や自然災害時における適切な対応についての指導を行っています。

『3. 人権の尊重』については、特に情報モラルに関する指導に重点を置いています。5月25日にLINEみらい財団オフィシャルインストラクターによる「スマホ安全教室」を開催し、インターネットやSNSを使用する際の安全、安心な使い方についての講話やワークショップを行いました。今後もSNSにおける危険性をふまえ、軽い気持ちで行った行為が加害者にも被害者にもなる可能性があることを、生徒達にしっかりと理解させるよう指導をしてまいります。

交通関係

今年度4～5月の2ヶ月間で、自転車による交通事故が12件発生しています。怪我をしなかった、あるいは軽症だった事例がほとんどですが、一歩間違えば重大な事故につながるようなものもありました。ご承知の通り、今年4月より自転車利用時のヘルメット着用が努力義務となり、本校でも少しずつ着用する生徒が増えてきております。大切な命を守るためにも、引き続きヘルメットの購入と着用を呼びかけてまいりますので、ご家庭におかれましてはぜひご協力をお願いいたします。

また、登下校時とも自家用車で送迎される場合、学校敷地内では教職員や警備員の誘導に従っていただくとともに、必ず徐行での走行をお願いします。南門近くの狭い路地、アパート駐車場など私有地での乗降は、近隣の方々のご迷惑となりますのでお控え下さい。なお、雨の日や土曜日は送迎の数が多く、朝8時以降は学校周辺の道路が大渋滞となることがありますので、出来るだけ時間に余裕を持って来校されるようお願いいたします。

クラブ活動記録

県大会

第40回福島県春季ジュニアダブルステニス選手権大会

硬式テニス部(福島市庭球場:4/15)

女子ダブルス 第3位 横田 結衣(郡山七)

第40回福島県春季ジュニアシングルステニス選手権大会

硬式テニス部(会津総合運動公園テニスコート:4/22~4/23)

女子シングルス 第3位 横田 結衣(郡山七)

第69回福島県高等学校体育大会陸上競技大会

陸上競技部(とうほう・みんなのスタジアム:5/24~5/27)

男子400m	第2位	吉田 ゆう(船引)	男子総合優勝!(6年連続)
男子400mH	第2位	野崎 鳳榎(白河二)	
男子4×100mR	優勝	齋藤 正弥(五箇) 遠藤 瑛汰(北信)	
		設楽 昌舜(西郷一) 箭内 洸斗(船引)	
男子4×400mR	優勝	吉田 ゆう(船引) 芳賀 秀哉(郡山六)	
		大塚 要介(富田) 井上琉之亮(矢吹)	
男子走幅跳	優勝	君島 風牙(郡山三)	
	第2位	曲山 純平(福大附属)	
男子三段跳	優勝	曲山 純平(福大附属)	
男子砲丸投げ	第3位	新妻 大希(郡山五)	
男子円盤投げ	第2位	小野 大輝(ひらた清風)	
八種競技	第3位	日比野 匠(福島四)	
女子100m	第3位	陣野 莉心(白河二)	女子総合優勝!(3年連続)
女子200m	第3位	陣野 莉心(白河二)	
女子1500m	第3位	山口ありす(郡山五)	
女子2000mSC	第2位	安齋 響(二本松二)	
	第3位	滝深 心咲(棚倉)	
女子4×100mR	優勝	佐藤 悠(郡山四) 陣野 莉心(白河二)	
		佐藤 蓮華(石川) 石川 暖菜(白河中央)	
女子4×400mR	優勝	藤田 抄己(棚倉) 安住 乃茜(郡山四)	
		佐藤 悠(郡山四) 陣野 莉心(白河二)	
女子走高跳	優勝	三宅 花音(郡山四)	
女子走幅跳	第2位	遠藤 結(広瀬)	
女子三段跳び	優勝	遠藤 結(広瀬)	

第69回福島県高等学校体育大会ライフル射撃競技

ライフル射撃部(二本松総合射撃場:6/4)

AR60MJ	優勝	鈴木 志門(矢祭)	
BR60MJ	優勝	鈴木 志門(矢祭)	
BR60MJ	第2位	家久来 蒼(安積)	
BR60MJ	第3位	湯坐斗喜也(鮫川)	
BR60WJ	優勝	古川 裕菜(郡山六)	
BR60WJ	第2位	佐藤 愛珠(白河中央)	
BR60WJ	第3位	黒川 莉織(大信)	
BP60MJ	優勝	須藤 巧(棚倉)	
BP60MJ	第2位	村上 安貴(郡山四)	
BP60WJ	優勝	菱沼 未来(安積二)	

第69回福島県高等学校体育大会相撲競技

相撲部(あいづ相撲場:6/3~6/4)

団体	優勝	工藤 心暖(坂下) 佐藤 悠佑(蓬萊)	
		伊藤 礼暖(坂下) 國分 夏(三穂田)	
		菊田 流雅(友部)	
無差別級	第2位	菊田 流雅(友部)	
	第3位	國分 夏(三穂田)	
100kg以上	第2位	菊田 流雅(友部)	
	第3位	工藤 心暖(坂下)	
100kg未満	第2位	工藤 礼暖(坂下)	
80kg未満	優勝	佐藤慎之助(坂下)	

第69回福島県高等学校体育大会テニス競技

硬式テニス(あづま運動公園:6/1~6/5)

女子ダブルス 第3位 横田 結衣(郡山七) 大内 咲枝(福大附属)

第69回福島県高校体育大会柔道競技

柔道(いわき市立南部アリーナ:6/3~6/5)

男子団体	第2位	村上 竜也(小野) 鈴木 廉司(須賀川三)	
		田母神愷成(郡山四) 熊田 煌虎(行健)	
		宗像 劉成(小野) 木船 瑛太(岩瀬)	
		持地 海翔(岩江)	
男子個人66kg級	第3位	鈴木 廉司(須賀川三)	

県大会については3位以上、東北大会は入賞者、全国大会は出場者を掲載()は出途中

第69回福島県高等学校体育大会バスケットボール競技

男子バスケットボール(あいづ総合体育館:5/27~5/29)

第3位	佐藤 音弥(本丸) 鈴木 健翔(白河二) 鈴木 拓磨(泉)	
	榎木 成伊(喜多方三) 永井 優慧(川口西) 蓮沼 明宏(一箕)	
	深谷 瑞希(白河二) 遠藤 遥翔(本郷) 矢吹 匠(石川)	
	佐藤 駿平(二本松一) 想田 宥斗(郡山三) 畑岡 陸(須賀川一)	
	相良 星太(御館) 安島 通孝(植田) 上原 晴希(平一)	
	遠藤 晴空(本宮二) 長峰 海音(若松三) 平野 源斗(一箕)	
	熊田 拓真(須賀川一) 飯田 基裕(郡山三) 樋渡 龍汰(郡山四)	
	伊勢谷圭祐(本宮一) 佐藤 煌士(中央台北) 大越 暁人(石川)	
	小沼 怜央(本宮二)	

第75回春季東北地区高等学校野球福島県大会

野球部(あいづ球場:5/13~5/21)

準優勝	浅倉 七星(信夫) 荒瀬 剛毅(郡山六) 小野崎瑞人(陽東)	
	甲高 空飛(勿来一) 笹田 莉人(河原城) 佐藤 弘倫(坂下)	
	植谷 蒼太(郡山六) 中島 真叶(富士) 西片 祐介(須賀川二)	
	堀米 翔太(植田東) 堀米 涼太(植田東) 長根 碧泉(寺岡)	
	本田 誠斗(白沢) 井出 海成(奥戸) 天羽 俊介(鳴尾)	
	熊田 永遠(須賀川二) 奈須 優輝(喜多方二) 小野 右京(小浜二)	
	胡口 輝光(勿来二) 渡辺 俊介(白沢) 伊藤 夢子(本宮一)	

第69回福島県高等学校体育大会体操競技

体操部(あづま総合体育館:5/26~5/28)

男子団体	第3位	古川 空琉(郡山三) 本田 悠馬(緑ヶ丘)	
		渡部 琉成(郡山三) 國分 獅王(本宮二)	
		姿 諒人(本宮二)	
女子団体	第2位	大和田歩華(緑ヶ丘) 川崎 瑞歩(片平)	
		佐藤 杏(郡山一) 小椋山萌花(郡山六)	
		柳沢 美虹(行健) 高橋 菜(郡山三)	

第76回福島県総合スポーツ大会体操競技

体操部(あづま総合体育館:6/8~6/10)

男子団体	第2位	古川 空琉(郡山三) 本田 悠馬(緑ヶ丘)	
		渡部 琉成(郡山三) 國分 獅王(本宮二)	
		姿 諒人(本宮二)	
女子団体	第3位	大和田歩華(緑ヶ丘) 川崎 瑞歩(片平)	
		佐藤 杏(郡山一) 小椋山萌花(郡山六)	
		柳沢 美虹(行健) 高橋 菜(郡山三)	

全日本ジュニア柔道体重別選手権大会福島県大会

柔道部(そうまスポーツアリーナ:6/18)

女子個人 第3位 芝田 姫穂(郡山一)

第69回福島県高等学校体育大会水泳競技大会

水泳部(福島市中央市民プール:6/23~6/25)

男子学校対抗	優勝	竹田 孝河(行健)	
男子50m自由形	優勝	石川 遼弥(行健)	
	第2位	石川 遼弥(行健)	
男子100m自由形	優勝	渡部 竣也(郡山一)	
男子100m背泳ぎ	第2位	菅野 楓(行健)	
	優勝	渡部 竣也(郡山一)	
男子200m背泳ぎ	第2位	菅野 楓(行健)	
	第3位	竹田 孝河(行健)	
男子100mバタフライ	優勝	樽川 脩汰(郡山六)	
男子200m個人メドレー	第2位	小林 蒼太(大東)	
	優勝	樽川 脩汰(郡山六)	
男子400m個人メドレー	第3位	小林 蒼太(大東)	
	優勝	石川 遼弥(行健) 樽川 脩汰(郡山六)	
男子4×100mフリーリレー	優勝	竹田 孝河(行健) 渡部 竣也(郡山一)	
		竹田 孝河(行健) 石川 遼弥(行健)	
男子4×200mフリーリレー	優勝	渡部 竣也(郡山一) 樽川 脩汰(郡山六)	
		竹田 孝河(行健) 石川 遼弥(行健)	
男子4×100mメドレーリレー	優勝	渡部 竣也(郡山一) 樽川 脩汰(郡山六)	
		竹田 孝河(行健) 石川 遼弥(行健)	

女子学校対抗	第2位	渡邊 寧来(仁井田)	
女子100m背泳ぎ	第3位	蓬田 虹美(守山)	
	優勝	渡邊 寧来(仁井田)	
女子200m背泳ぎ	第2位	蓬田 虹美(守山)	
	優勝	武田 璃子(若松一)	
女子100m平泳ぎ	優勝	武田 璃子(若松一)	
女子200m平泳ぎ	優勝	武田 璃子(若松一)	
女子4×100mメドレーリレー	第2位	渡邊 寧来(仁井田) 武田 璃子(若松一)	
		円谷 紀子(郡山一) 蓬田 虹美(守山)	



東北大会

第74回東北高等学校相撲選手権大会

相撲(みちのく伝創館:6/24~6/25)

100kg未満	第3位	工藤 礼暖(坂下)	
80kg未満	第3位	佐藤慎之助(坂下)	

第43回東北高等学校馬術選手権大会

馬術競技部(南相馬市馬事公苑:6/9~6/11)

個人戦 第2位 秋葉 大地(上山市北)

第78回東北高等学校陸上競技大会

陸上競技部(NDソフトスタジアム山形:6/15~6/17)

男子4×400mR	第4位	吉田 ゆう(船引) 芳賀 秀哉(郡山六)	
		大塚 要介(富田) 井上琉之亮(矢吹)	
		野崎 鳳榎(白河二)	
男子走幅跳	第2位	曲山 純平(福大附属)	男子総合第4位
	第4位	君島 風牙(郡山三)	
	第5位	小針 幸誠(矢吹)	男子フィールド優勝
男子三段跳び	第2位	曲山 純平(福大附属)	
男子砲丸投げ	第6位	新妻 大希(郡山五)	
男子円盤投げ	第3位	小野 大輝(ひらた清風)	
女子100m	第5位	陣野 莉心(白河二)	
女子2000mSC	第8位	安齋 響(二本松二)	
女子4×100mR	第3位	佐藤 悠(郡山四) 陣野 莉心(白河二)	
		佐藤 蓮華(石川) 石川 暖菜(白河中央)	
		箭内 汐音(船引) 藤田 抄己(棚倉)	
		三宅 花音(郡山四)	
女子走高跳	優勝	三宅 花音(郡山四)	
女子三段跳び	第3位	遠藤 結(広瀬)	女子総合第8位

全国大会

第11回国際女子相撲選抜大会

相撲部(堺市大浜公園相撲場:4/9)

無差別	出場	関下 爽夏(福大附属)	
軽量級	出場	関下 爽夏(福大附属)	

第39回U20日本陸上競技選手権大会

陸上競技部(ヤンマースタジアム長居:6/1~6/4)

U20男子走幅跳	第3位	曲山 純平(福大附属)	
U20女子走高跳	第6位	三宅 花音(郡山四)	

第9回全国女子相撲選抜ひめじ大会

相撲部(網干南公園相撲場:6/18)

60kg未満	ベスト8	関下 爽夏(福大附属)	
--------	------	-------------	--

第1回全国高等学校ピストル射撃競技選手権大会

ライフル射撃部(つつがライフル射撃場:7/25~7/27)

BP60MJ	須藤 巧(棚倉) 村上 安貴(郡山四)	
BP60WJ	菱沼 未来(安積二)	
AR60MJ	鈴木 志門(矢祭)	

第61回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

ライフル射撃部(つつがライフル射撃場:7/28~7/31)

BR60MJ	家久来 蒼(安積) 湯坐斗喜也(鮫川)	
	遠田 悠翔(安積二) 黒子 遼人(安積)	
	齋藤 陽向(明健)	
BR60WJ	古川 裕菜(郡山六) 佐藤 愛珠(白河中央)	
	黒川 莉織(大信) 今泉 奈桜(岩江)	

第34回全日本高等学校馬術選手権大会

馬術競技部(ノーザンホースパーク:8/9~8/10)

馬術競技 秋葉 大地(上山市北)

令和5年度全国高等学校総合体育大会

体操部(北海きたえーる:8/2~8/5)

女子個人 大和田歩華(緑ヶ丘)

令和5年度全国高等学校総合体育大会

陸上競技部(札幌市厚別公園競技場:8/2~8/6)

女子100m	陣野 莉心(白河二)	
女子4×100m	石川 暖菜(白河中央) 佐藤 蓮華(石川)	
	佐藤 悠(郡山四) 安住 乃茜(郡山四)	
	藤田 抄己(棚倉) 箭内 汐音(船引)	
	大塚 要介(富田) 井上琉之亮(矢吹)	
	吉田 ゆう(船引) 箭内 洸斗(船引)	
	佐久間翔梧(鏡石) 佐藤 漣(西袋一)	
	小野 大輝(ひらた清風)	
	遠藤 結(広瀬)	
	曲山 純平(福大附属)	
	小針 幸誠(矢吹) 曲山 純平(福大附属)	
	君島 風牙(郡山三)	
	新妻 大希(郡山五)	
	三宅 花音(郡山四)	

第101回全国高等学校相撲選手権大会

相撲部(北斗市総合体育館:8/4~8/6)

団体	工藤 心暖(坂下) 佐藤 悠佑(蓬萊)	
	工藤 礼暖(坂下) 國分 夏(三穂田)	
	菊田 流雅(友部)	
	國分 夏(三穂田) 菊田 流雅(友部)	
個人戦	佐藤慎之助(坂下)	
80kg未満		